

東京湾横断道路工事

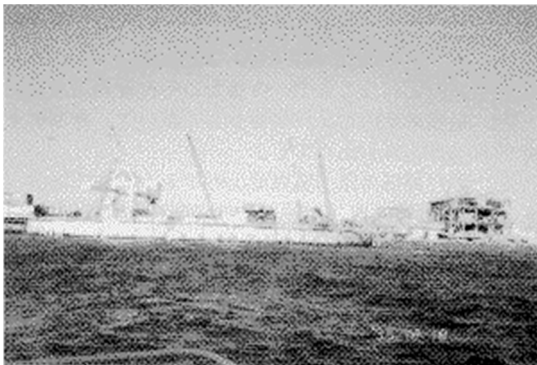
発注者 : 日本道路公団
施設所在地 : 神奈川県川崎市、千葉県木更津市
調査見学時期 : 平成 7 年 12 月 18 日 (月)

工事概要

東京湾横断道路(路線名:一般国道 409 号)は、川崎市川崎区浮島町地先から木更津市中島まで東京湾の中央部を横断する延長 15.1 km の有料道路です。総事業費 1 兆 4,384 億円という大プロジェクトは平成元年 5 月に起工し、平成 8 年度の完成を目指して、現在順調に工事が進められています。

川崎人工島は、川崎港沖合い約 5km の海上にあり、水深 28m 以深の軟弱層を地盤改良し、土留・護岸及び足場となる鋼製ジャケット(外径 195m)が設置され、その内側に地中連続壁(内径 98m)が施工され、更にその内側に人工島本体のコンクリート構造物が構築されます。トンネル施工中は、シールド発進基地として、また完成後は換気施設となります。現在、シールドマシンの搬入出開口を除いてコンクリート構造物の構築が終わり、シールド掘削工事が進められています。なお、本島は、バース・泥水処理プラント等を併設しており、その規模は、想像以上に大きく感じられました。

木更津人工島は、木更津沖合い約 5 km に位置し、全長 1,400m(海上部 650m)全幅 240m(海上部 100m)の盛土護岸式人工島で、工事中はシールド発進基地として、完成後は橋梁から海底トンネルへのアクセス部、サービスパーキングエリア及び換気施設となります。現在、本島と橋梁部は接続され、シールド掘削も私達が視察した北側トンネルは、川崎人工島へ向かって約 1.4 km まで掘り進んでいました。シールド直径が 14.14m(世界最大)で、セグメントも 1 ピース 10 トン(1 リング 11 ピース)という大きさには、驚かされました。また、シールドマシンの掘削管理、セグメント組立状況等がシールド管理室でコンピューターにより集中管理されており、そのハイテク化、省力化にも感心させられました。(GEC ニュース第 77 号より抜粋)



川崎人工島



シールドトンネル(木更津人工島)